

企画提案依頼事項

企画提案依頼事項	企画提案書への記載内容	配点
1 本業務の理解及び基本方針		10
(1) 本業務の理解	本業務の目的及び背景を踏まえ、関係人口の創出及び深化に対する基本的な認識について記載すること。	
(2) 基本方針	本業務をどのような考え方で推進するか、全体方針を記載すること。 また、関係人口の拡大及び深化の両面にどのように取り組むかについて記載すること。	
(3) 提案の全体像	本業務における交流基盤の全体像について記載すること。 特に、利用者の行動変容及び関係性の深化がどのように実現されるかを明確に示すこと。	
2 交流基盤の全体設計		15
(1) 交流基盤の基本構成	本業務において構築する交流基盤の全体構成について記載すること。 利用者の関与がどのように蓄積され、関係性として発展していくかを含めて示すこと。	
(2) 利用者導線の設計	利用者が本市を認知し、関心を持ち、関わり、来訪や活動参加に至るまでの一連の導線について記載すること。	
(3) 情報及び機能の設計	交流基盤において提供する情報及び機能の考え方について記載すること。 なお、機能の詳細ではなく、行動創出及び関係性の深化にどのように寄与するかを中心に記載すること。	
(4) 既存施策との関係性	魚沼市応援団や各種イベント等の既存施策と、本交流基盤との関係性について記載すること。既存施策がどのように活用され、継続的な関与につながるかを示すこと。	
3 行動創出及び関係性深化の仕組み		25
(1) 行動創出の仕組み	利用者が情報閲覧にとどまらず、イベント参加、地域活動への参画及び来訪へと行動を移すための仕組みについて記載すること。初回接触から参加に至るまでの具体的な導線及び工夫を示すこと。	
(2) 継続的関与の仕組み	単発の参加にとどまらず、継続的な関与につなげるための仕組みについて記載すること。 参加後のフォロー及び再参加を促す仕組みを含めて示すこと。	
(3) 外発的動機との適切な組み合わせ	関係人口の拡大段階において有効な外発的動機（インセンティブ等）と、関係性の深化段階における内発的動機をどのように組み合わせるかについて記載すること。	
(4) 内発的動機の喚起	利用者の「やりがい」「共感」「責任感」等の内発的動機を引き出し、継続的な関与につなげるための仕組みについて記載すること。活動に対する承認や感謝の可視化、役割の付与等の観点を含めて示すこと。	
(5) 地域課題の可視化及び具体化	地域側の課題を可視化し、市民が主体的に課題を言語化できるようにするための仕組みについて記載すること。また、その課題が担い手と接続されるプロセスを示すこと。	
(6) オンラインとオフラインの接続	デジタル上の関係構築を、実際の来訪及び活動参加につなげるための仕組みについて記載すること。	
4 データ取得及び活用方法		10
(1) データ取得の考え方	利用者の閲覧、申込、参加等の行動及び関係性の変化を把握するために、どのようなデータを取得するかについて記載すること。取得するデータの範囲及び考え方を示すこと。	
(2) 関係性の可視化	利用者の関与状況をどのように把握し、関係性の変化を可視化するかについて記載すること。	
(3) 分析及び効果検証の方法	本業務におけるKPI及び成果指標を踏まえ、どのように分析及び効果検証を行うかについて記載すること。	
(4) 改善への活用方法	分析結果をどのように施策の改善及び見直しにつなげるかについて記載すること。	
(5) 運用における活用	本市職員が日常的にデータを活用し、施策の運用及び意思決定に活かすための工夫について記載すること。	
5 運用設計及び実証計画		10
(1) 運用体制の設計	本業務の実施にあたり、本市及び関係者の役割分担をどのように整理し、運用体制を構築するかについて記載すること。	
(2) 運用方法及び業務フロー	情報発信、参加者管理、データ管理等の運用方法及び業務フローについて記載すること。 本市職員が継続的に運用できることを前提とした内容とすること。	
(3) 実証運用の実施内容	構築した交流基盤を用いて、どのような実証運用を行うかについて記載すること。 具体的な取組内容及び想定される利用シーンを示すこと。	
(4) 効果検証の計画	実証運用の結果をどのように評価し、課題を把握するかについて記載すること。	
(5) 改善に向けた取組	実証運用を踏まえ、どのように改善及び見直しを行うかについて記載すること。	
6 持続可能な運用モデル（自走）		20
(1) 自走に向けた基本的な考え方	本業務終了後、交流基盤が自立的に運用される状態をどのように実現するか、その基本的な考え方について記載すること。	
(2) 運用主体及び役割分担	将来的な運用主体及び本市、民間事業者、地域団体等の役割分担について記載すること。	
(3) 運用継続の仕組み	継続的な運用を可能とするための仕組みについて記載すること。 人的体制、関係者の関与、運用の負担軽減等の観点を含めて示すこと。	
(4) 外発的動機との適切な活用	関係人口の拡大段階において有効な外発的動機と、関係性の深化段階における内発的動機をどのように組み合わせるかについて記載すること。	
(5) 内発的動機による関与の促進	利用者及び地域側の関係者が、やりがい、共感、責任感等の内発的動機により継続的に関与するための仕組みについて記載すること。	
(6) 収益確保又は運用資源の確保	将来的な運用に必要な費用又は人的資源をどのように確保するかについて記載すること。	
(7) 段階的な移行計画	本市の関与から自走へと移行するまでの段階的な計画について記載すること。	

企画提案依頼事項

企画提案依頼事項	企画提案書への記載内容	配点
7 実施体制及びスケジュール		5
(1) 実施体制	本業務を円滑に遂行するための実施体制について記載すること。 業務責任者、担当者の役割及び関係者との連携体制を明確に示すこと。	
(2) 人員配置及び専門性	本業務に従事する人員の配置及びそれぞれの役割について記載すること。 また、本業務を遂行する上で必要となる専門性や実績について示すこと。	
(3) スケジュール	本業務の実施スケジュールについて記載すること。 設計、構築、実証運用及び改善の各段階が分かるように示すこと。	
(4) 進行管理及びリスク対応	業務の進行管理方法及び想定されるリスクへの対応について記載すること。	
8 独自提案		5
(1) 独自提案	本業務の目的の達成及び関係人口施策の高度化に資する独自の提案について記載すること。	
(2) 付加価値の創出	本仕様書及び企画提案依頼事項に記載のない内容であっても、本業務の効果を高めると認められる提案がある場合は、積極的に記載すること。	
(3) 実現性及び効果	提案する内容について、その実現性及び期待される効果を具体的に示すこと。	